

議会だより

第5号

第2回6月定例会 商工業施設等整備事業補助金 1,230万円を追加し、総額 2,730万円に

《村長諸般の報告》

○定住自立圏推進協議会を設立

中心市（人吉市）と近隣市町村が役割分担、連携することで圏域全体に必要な生活機能（例えば医療・福祉・地域交通など）を確保して定住促進を図る事業で、5月13日に設立。（イメージ図参照）

○「ダムによらない治水を検討する場」が開催

2年7ヶ月ぶりとなる4月24日、県庁で開催。現在検討されている方策（河川掘削・堤防強化・遊水池の新設・市房ダム洪水調整能力強化など）をすべて実施しても5～10年に一度規模の洪水に対応できるレベルで、20～70年に一度の水準には届かない状況。



平成26年第2回（6月）定例会が6月10日開催され、報告2件、専決処分事項の承認3件、条例改正1件、26年度各会計補正予算5件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決されました。

一般質問には、3名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

定住自立圏のイメージ

定住自立圏



○人吉球磨スマートインターチェンジ（仮称）

4月に地権者への説明会を実施。概算事業費は約36億円。

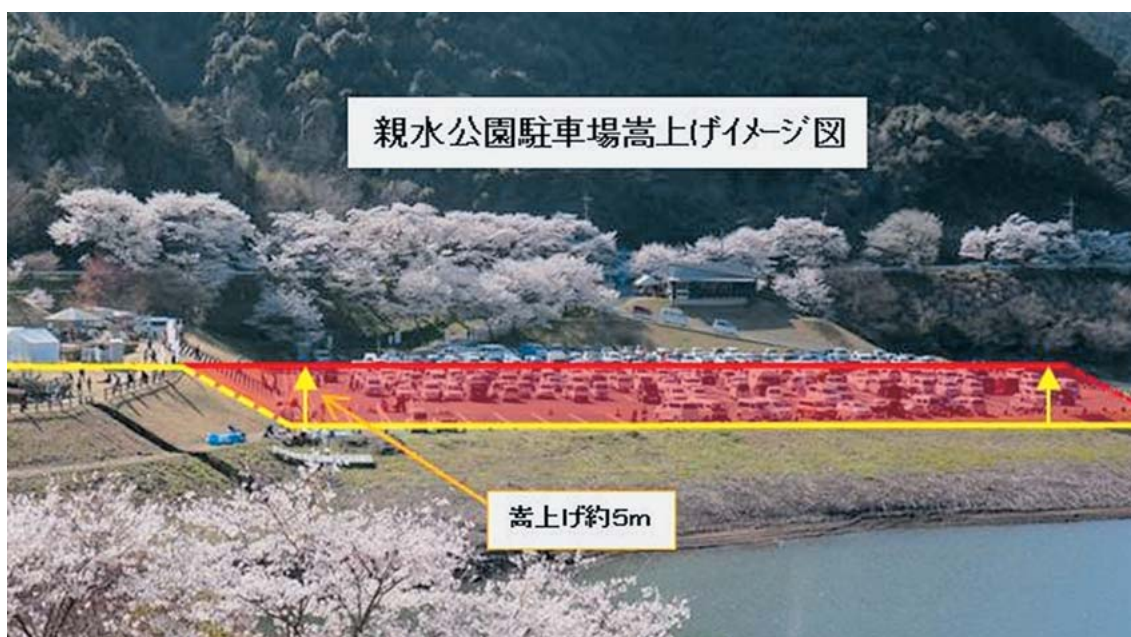


○26年度熊本県球磨地域振興局管内主軸事業（水上村管内）総額15億6,960万円

・農林部関係 9億 260万円（森林環境保全整備事業ほか）

・土木部関係 3億2,700万円（県道上椎葉湯前線関連ほか）

・市房ダム関係 3億4,000万円（汗の原親水公園駐車場嵩上げほか）



《教育長諸般の報告》

○小学校教科用図書の採択と展示会

27年度から使用される教科用図書が、球磨地区採択協議会（人吉市・球磨郡10市町村で構成）において採択協議が行われる。（見本については岩野公民館において6月13日から2週間展示された。）

《人事案件》

○農業委員の推薦について

議長発議により提案され、松田三代子さん（北目）を議会推薦することに決定しました。

《条例》

○地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議会が議決すべき事件として、定住自立圏形成協定の締結、変更又は廃止を求める旨を通告することを追加。



《予算》

○平成26年度水上村一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に2,760万円を追加し、総額を26億2,980万円とするものです。



歳出の主なものは、商業施設等整備事業補助金1,230万円、村有林除伐委託料(津野団地)800万円などを追加計上しました。

○平成26年度水上村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に32万円を追加し、総額を3億6,342万円とするものです。

○平成26年度水上村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に3万円を追加し、総額を4,273万円とするものです。

○平成26年度水上村介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に654万円を追加し、総額を3億3,224万円とするものです。

○平成26年度水上村後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に22万円を追加し、総額を3,142万円とするものです。

○平成25年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告につ

て

○平成25年度水上村介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告につ

て

○専決処分事項の承認を求めることについて(水上村税条例の一部を改正する条例)

○専決処分事項の承認を求めることについて(水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

○専決処分事項の承認を求めることについて(平成26年度水上村一般会計補正予算(第1号))

○議員派遣の件について

○継続審査申出書について

《報告》

《その他》

一般質問



小野 頼年 議員

ふるさと納税(寄附金)について

新たな財源創出の施策に併せ、産業振興・住民の生活向上を

途にするふるさと納税について、過去7年間の年毎による本村の寄附数・金額・謝礼の品は

○ 廣瀬村長 平成20年度より受付している。(別表参照)謝礼につ

ては、22年度より

り地元の特産品(焼酎・イチゴ・ハムそぼろなど)を

贈っている。24年度からは米・そばセット、25年度

はみずかみ村の水に加え、お茶セット・ハムセット



などを金額に応じて贈っている。

○ ふるさと納税をされた方には、自治体より謝礼の品が贈られ、

寄附金に対しては住民税控除がある。本村としても寄附金を財源創出として

色々な事業を行う事ができ、謝礼の品に地元の野菜・果物・米・肉・焼酎・宿泊券等を贈ること、水上の宣伝、

地元の経済効果にもつながるのでは。

年 度	寄 付 金 の 使 途	人	金 額
20年度	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	1	10,000
21年度	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	6	725,000
22年度	産業・観光の振興に関する事業	2	75,000
	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	2	410,000
23年度	産業・観光の振興に関する事業	2	55,000
	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	2	510,000
24年度	産業・観光の振興に関する事業	2	50,000
	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	1	500,000
	その他の条例で定めた事業	1	10,000
25年度	産業・観光の振興に関する事業	1	20,000
	保健・医療・介護・福祉の向上に関する事業	2	1,000,000
	その他の条例で定めた事業	3	24,000

答 廣瀬村長 毎年寄附して頂く方には品物の種類を変えて贈っている。現在の手法を続けていき、元来



荒嶽 晋 議員

防災について

問 ここ数年経験したことのない気象が全国で多発し、油断出来ない状況にある。本村が非常用に準備している寝具・食糧・飲料水・医薬品等の数量は。

答 中嶽総務課長 寝具については、岩野公民館に毛布50枚、湯山交流センターは0枚、江代防災拠点施設には毛布40枚、バーテーション（間仕切り）10世帯分、敷きマット20畳分、発電機と燃料を準備している。また飲料水として、役場に2500本（ペットボトル330ml）を用意している。

問 農家や家庭菜園で野菜等つくられている方の多い本村だが、ある程度の食糧（米・缶詰等）を準備しておく必要があるのでは。

ふるさと納税がスタートした原点に戻り、本当に応援して頂く方へ謝礼の品を贈っていききたい。

答 廣瀬村長 水上村防災マップに記してあるように、各家庭において非常時持出品（貴重品・懐中電灯・ラジオ・救急医薬品・飲料水・食料等）を準備していただく啓蒙・啓発が必要であろう。備品の備蓄を優先し、食糧については今後

も地元農家・商店と協定を交わしながら更なるシステムを構築したい。

問 本年度の防災会議前に各家庭に防災マップが配布されたが、危険箇所等の見直しは反映されているか。

答 中嶽総務課長 消防団と区長に連携いただき、危険箇所の調査を行い、その結果を防災マップに反映させている。6月5日が梅雨入りの平年日なので、それ以前に配布を行った。

問 これから梅雨本番、そして台風シーズン控えており、早めの備品等の準備が必要であると考えますが、今後どれくらいの数量を揃えるのか。

答 廣瀬村長 医療関係については、村内外の医療機関にお願いしている。寝具については、精査させていただき必要最小限は揃えたい。

提言

食糧の備蓄は考えていないと答弁されたが、今後備える際の参考として、ひとつのプロジェクトを紹介したい。（プロジェクト概要 非常食（パンの缶詰、賞味期限3年）として、2年間備蓄し、残り約1年の賞味期限の間に、飢餓に苦しむ国々へ送る。）

民生委員活動について

問 昭和23年に民生委員法が施行され、年を追うごとに活動内容が多様化し煩雑になってきている。多忙を極める民生委員の報酬を増額する考えは。

答 廣瀬村長 多種多様な業務をされており、高齢化、少子化を伴っていることは実感している。民生委員会の意向も聞きながら検討させていただく。

問 民生委員の担当地区の住民数を比較したとき232世帯を最高に、少ないところは38世帯となつて

いる。この世帯数の差が仕事量にも影響していると考えるが問題はないか。また、現在の地区割りはいつからか。

答 廣瀬村長 いつからかは承知していない。ただ世帯数だけでは判断できないとも考える（高齢化率・住居の点在）。地区割りについても民生委員会の中で定めることとなっており、協議いただき検討を重ねていく。

問 民生委員の増員。また委嘱業務以外の負担を強いられないように、村独自の運営規程をつくっては。

答 廣瀬村長 現在の民生委員をお願いする際も非常に苦慮した経緯もある、増員については簡単なことではないが、手伝いだけの方がおられれば、やぶさかではない。民生委員の活動については、深く感謝申し上げるとともに頭の下がる思いである。無理のない業務が出来るよう民生委員会の中で協議を重ねていく。



非常食を購入



2年間の備蓄後、回収・輸送



世界の飢餓に苦しむ人々へ



那須 正弘 議員

入札業務について

問 落札率が全体に、97～98%の高止まりの落札となっているが、現実的に高いという意識はないのか。

答 椎葉副村長 10社指名して入札しており、各社が受注能力に応じて入札を行っている

問 業者間の話し合いがなされていないければ、1回目の入札で不落であった場合、2回目は業者が替わってくるのでは。

答 椎葉副村長 業者の受注への熱意が、入札の結果に表れているのではないか。

問 湯山地区の排水路改修工事においては、2回目も不落で、日を改めてすべての業者（10社）を入れ替えて入札。一方、岩野覚井地区の一般住宅建設工事においても、2回目が不落となったが、すべての業者（10社）を入れ替えず、なぜ3社だけはそのままか。

指名競争入札フロー図



答 堤田建設課長 設計内容を見直したことによりすべて入れ替えず、指名審査会で審査し、3社を再指名した。

大規模開発計画について

問 矢立原クロスカントリーコース整備計画についてのアンケート結果を見ると、合宿地までの移動時間は15分以内という要望が多く、到底湯山からは無理である。更に国道（湯山舟石から峠）は幅員が狭く、離合も困難な状況であり、国・県に要望し、早急な対策が必要。こういう状況では、地元宿泊施設ではなく椎葉村の矢立原キャンプ場を利用することがないか心配する。それらの問題は全てクリアされるのか。

答 廣瀬村長 国道388号は湯山峠までの約3kmが未改良で、再三再四、県あるいは国土交通省に対し要望しており、国道規定に基づいた改良は困難ではあるが、1.5車線化の改良になるだろうという回答を頂いており、今後

要望活動を行っていく。クロスカントリーコースは本村で造る施設なので、村内に宿泊するようお願いしたい。

その他の質問事項

- 水資源活用調査検討プロジェクトについて
- 第三セクターについて
- 建設課の技術職員について

水上村談合情報調査委員会

今般の一般質問での談合情報を受け、2回にわたる審議を行い、6月24日の入札参加者18社へ協力要請し聞き取り調査を実施した結果、今回の入札2件及び平成25年度執行済みの入札において談合の事実認められませんでした。

7月15日開催 第2回臨時会

《予算》

○平成26年度水上村一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に140万円を追加し、総額を26億3,120万円とするものです。

歳出は6月21日から22日にかけての梅雨前線豪雨による林道梅ノ木鶴線災害（2ヶ所）に伴う測量設計業務委託料140万円、歳入は繰越金同額をそれぞれ追加計上しました。

《その他》

- 議員派遣の件について
- 継続審査申出書について



ダムによらない治水対策の勉強会

球磨郡町村議会議長会主催による勉強会が6月27日、あさぎり町せきれい館において開催されました。

4月に2年7ヶ月ぶりに開催された「ダムによらない治水を検討する場」で検討された治水対策について、人吉球磨の議会議員が互いに理解を深めるために開催されたもので、今回で2回目。国、県の担当者から説明を受け、参加者からは検討されている治水対策の安全性の低さを心配する声や抜本的な対策を望む声が続出しました。



山下会長（湯前町議会議長）の挨拶

編集後記

この木なんの木気になる木

これは樹齢80年程の杉の木である。よく見るとその杉の木の幹から直径50cmにもなるう檜の木が伸びているではないか。私はこの2本の木を木繋（きずな）と命名。木の種類は違っているが、同じ時代に生を受け同じ場所で共存している。日々の生活の中で、時には自然の脅威におののく事もあるが、自然から学ぶ事も多い。柔道の創設者嘉納治五郎師範の言葉に、「精力善用 自他共栄」とあるが精力善用とは、何事にも目的を達する為に精神の力と身体の手とを最も有効に働かし、自他共栄とは、相助相譲（そうじょそうじょう）互いを助け互を譲るという意味。この言葉やこの木繋が示すように、私たちが互いに絆を深め仲良く生きて行きたいものです。

この樹木が気になる方は、広域農道から階段を上り、カントリーパークの林内に30m程入った所です。

小野 頼年



広報特別委員会

委員長

小野 頼年

副委員長

米本 宗徳

委員

荒嶽 晋

米良 哲